



基山を再発見!

# きやま さんぽ

Vol.1



△落成式の様子(令和元年6月24日)



△落成式では保育園児と餅まきも実施



△大容量の収納など工夫を凝らした室内

アモーレ・グランデ基山が完成してまもなく1年。子育て・若者世帯向けの住宅とあって、毎日子どもたちの元気な声が響いています。

## 町の課題

町の人口は平成12年の19,176人をピークに減少傾向となり、平成27年には17,501人となっていました。特に15〜34歳の転出割合が高い状況にあったため、若年層の町外流出を抑制するとともに、町内への転入を促進していくことが喫緊の課題となりました。

## 人口対策の取り組み

そこで、人口増対策を強力に推進していくための「定住促進課」が誕生し、EMユーのテレビコマercialや移住体験住宅など「定住サプライズプロジェクト」がスタート。町の人口増対策への積極的な取組に民間事業者も同調し、令和元年6月には官民連携によるPFI方式で「アモーレ・グランデ基山」が誕生しました。

## 暮らしやすい施設

全30戸満室で入居開始を迎えた「アモーレ・グランデ基山」には、各戸備え付けの「トランクルーム」や不在時

でも荷物の受け取りができる「宅配ボックス」、子育て世帯の交流の場となる「コミュニティルーム」など、民間事業者のノウハウやアイデアを盛り込んだ、入居者が安心して快適に暮らせるための工夫を凝らしています。

## 「基山町に住んでよかった」

平成9年に役場が移転してから約20年。長年にわたり有効活用が検討されてきた旧役場跡地に、町の定住促進のシンボルとなる施設が誕生し、町の人口は現在増加の傾向に転じています。町では、「基山町に住んで良かった」、「ずっと住み続けたい」と言っていただけのような移住定住への取り組みを引き続き進めていきます。

## まちの声

アモーレ・グランデ基山ができてから、よく子どもが遊びにくるようになりました。若い世代のお母さんが買い物に来てくださり、料理のレシピなどを教えて交流しています。アモーレ・グランデ基山周辺に町の活気がより生まれた気がします!



◁中願寺青果店  
中願寺タツ子さん(左)  
幸宏さん(右)